

患者様、利用者様の笑顔を引き出す ライフストーリーカルテを ご存じですか??

ライフストーリーカルテって何??

患者様・利用者様を深く理解するためには疾病だけでなく、その人の生きてきた証としてのライフストーリーにも注目することが重要です。

ライフストーリーの情報をスタッフ間で共有することで個別のより良いケアが提供できます。

ライフストーリーカルテは従来の病院や施設のカルテでは不十分であった情報を補うことのできるツールです。

患者様・利用者様にとっては このような変化があります



話しかけによって
笑ってくれるようになりました♪

自身から話してくれるようになりました!



昔の趣味をリハビリで実践できた!!



生活歴に関する話をする
とイキイキとした表情になりました♪

普段は無口な父に
表情の変化が現れました!

話すことができないと思っていたのに
好きな話題だと話してくれるんです♪



職員にとっては このような変化があります

その方の人生の歴史を知ることにより
接し方の工夫ができるんです。

生活目標のプランの立案時に
活用しています。

なぜ怒っているのかの理由を
本人が大事にしてきた考えなど
様々な視点から考えられるようになりました。

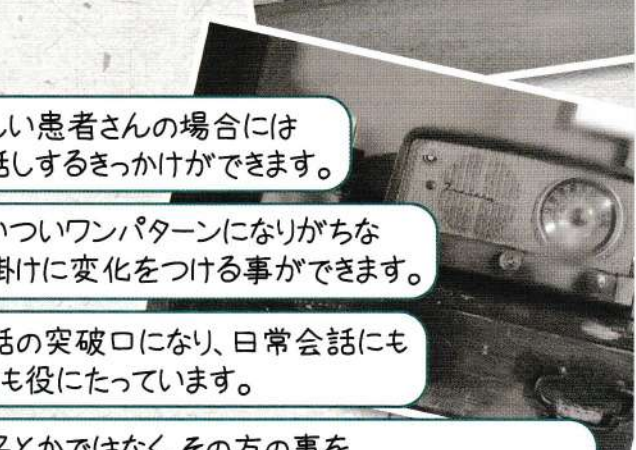
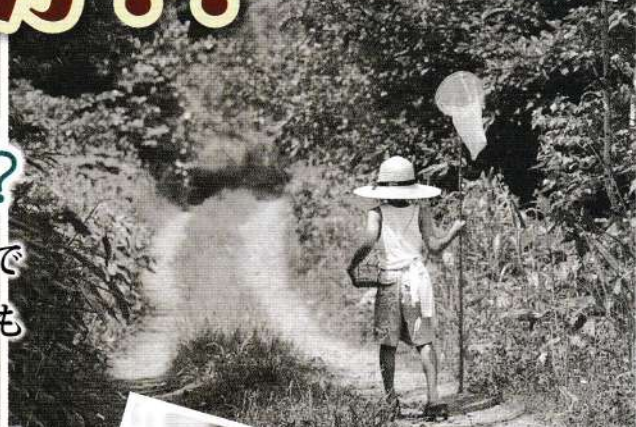


新しい患者さんの場合には
お話しするきっかけができます。

つついワンパターンになりがちな
声掛けに変化をつける事ができます。

会話の突破口になり、日常会話にも
とても役にたっています。

病名とかではなく、その方の事を
知ることが出来るので、もっと親身に寄り添えます。



病院・施設ではこのように活用しています

- ライフストーリーカルテで患者様・利用者様の全体像を把握します。
- それらの情報をもとに問いかけます。
- 用紙に記入されていないことでも、話だされたら聴いていきます。「語り」「回想」を大切にしています。
- 本人が感じていること、話をされていることは否定せずさらに会話が広がるように問いかけをしたり、共感するようにしています。
- 聞き出せたことや良い反応(笑顔など)が引き出せた情報は裏面に記載してスタッフ間で共有します。



ライフストーリーカルテ記入例

(〇〇太郎様) ライフストーリーカルテ

記入日	〇年 〇月 〇日	記入者(続柄)	〇〇花子(娘)
-----	----------	---------	---------

当院・施設での暮らしを豊かにしていくための参考にさせていただくためご協力お願い致します。
ご本人様に関してお答えできる範囲で結構です。個人情報については安全に保管します。

【幼少期
〜
児童期】

ふるさとについて(出身地、その土地の環境など)

兵庫県〇〇町出身、周りの環境は田んぼなど自然豊かな環境であった。冬は雪がととも積もっていた。

家族関係(両親や兄弟について、家庭での役割)

5人兄弟の末っ子で姉一人兄三人であった。姉によく面倒を見てもらいながら育ち、小さい頃から両親の手伝いで畑仕事をしていた。

学校、友達、遊びについて(教育歴、好きだった教科、先生、友達とした遊びなど)

高等学校を卒業した。算数が得意で計算は早く、先生によく褒められていた。友達が多く、級長もしていた。学生時代は足が速く運動会で一番になっていた。陸上大会で大阪代表になっていた。

職業(仕事の内容や思い出、人付き合いなど)

高等学校を卒業後は実家で農業に従事し、近所の人たちと野菜の交換をしたり若い人たちに野菜作りを教えたりと他人からは好かれて慕われていた。

結婚について(結婚式での思い出、子育てなど)

亡くなった妻とは親戚同士であった。はじめはお互いに結婚するのが嫌だったと言っていたらしいが、その後はとても仲が良かった。結婚式当日は大雨で、衣装が台無しになったという思い出話をよくしていた。

趣味(好きな歌、旅行など)

美空ひばりが好き。趣味でカラオケ教室に通い、新しい歌を覚えるのが得意であった。他の趣味には、老人会で温泉によく行っていた。

ご本人がされていた日課や休日をどのように過ごしていたかなど生活習慣はありますか。

仕事をしていたときの休みの日は一日中寝ていたときが多かったです。退職後は、毎朝6時に起きて1日1万歩を目指して近所を散歩していました。散歩中であった人に「お若いんですね。」と言われていたそうで喜んでいました。夕方は庭いじりをしたり、相撲を見ていました。家事も洗濯物を取り入れたりとよく手伝ってくれていました。

ご家族にとってご本人はどのような人、人柄でしたか。どのような姿が印象に残っていますか。

真面目で食事の時間が少しでも遅れると怒ることもありましたが、子供から見るとそのくらい几帳面な性格で、いつも朝食時には誰よりも早く食卓について待っている姿が印象的でした。嫁から見ると几帳面すぎて緊張感もあったかもしれません。気が向けば孫と電車を見に行くとよく面倒を見ていてくれました。

ご本人の特技や自慢できること、生きがい、大切にしていることはありますか。

実年齢よりも若いとよく自慢していました。また、近所の人には野球をしている孫の自慢をよくしていました。そのため、孫の野球を見に行くことも日々の楽しみ(生きがい)にもしていたと思います。健康を大切に食事は毎食残さずきれいに食べてくれていました。

ご本人がどのような余生送りたいか、今したいこともう一度したいことはありますか。

病気になる前は、死ぬまで好きな食べ物(刺身)を食べたいと話していたので、もう一度口から食事ができるようにになりたいと思います。他には、野菜作りをしていたので、もう一度土いじりをさせてあげたいです。

人生の最期をどのように迎えたいとお考えですか。(ご本人もしくはご家族の思い)

家族に囲まれて笑って、好きな歌などを聞きながら最期を迎えたいと本人は思っていると思います。家族としては、本人が苦しまないでいてほしいです。

【青年期
〜
成人期】

【壮年期
〜
老年期】

【今とこれから】

例えばこんな事を教えてください

生まれ育ったその土地のこと。



兄弟の仲や、家族内での役割。

好きな教科や先生からほめられたこと。
施設でもできるカルタなど昔の遊び。



就職したころの心境や会社での人付き合いの仕方。



夫・妻とどこで出会ったのか。妻・夫との思い出。



家にいたときの性格、休日の過ごし方や趣味、日課。
入院直前までの人物像。



子ども時代のときに見た父・母について。印象に残っている姿。



特技や座右の銘など大切にしていること。



ご家族様が知るうえでご本人の希望を可能な限り記載してください。(家族からの希望でも結構です)

病前に話されていた内容や、ご家族、本人の意見を考慮していただいた内容を記載してください。

